

日本看護歴史学会 會報

日本看護
歴史学会
第50号
2008年7月15日

日本看護歴史学会 第22回学術集会の開催にあたって

学術集会長 丸山マサ美（九州大学大学院医学研究院保健学部門）

日本看護歴史学会第22回学術集会は、10年ぶりに九州（福岡）で開催させていただくことになりました。開催に当たり、学会の皆様をはじめ、福岡県看護協会のご後援、九州大学病院看護部・日本医史学会のご協賛をいただきましたことを心より感謝申し上げます。



第22回学術集会が、旧帝國大学時代から100年余、長い歴史のある九州大学看護学校誕生の地において開催されます事は、まさに歴史に残る集会であると言えます。

メインテーマは「歴史の中に生きる看護の心」。百年の歴史と未来志向のテーマを掲げて、近代看護が医学の発展とともに歩んで来た軌跡をも確認しつつ、「未来への看護」「医療専門職者のエートス」を模索する歴史的学術集会を企画しました。

本学術集会会場の百年講堂前には、無心に天空を仰ぎみる青年の裸像『THE HAND OF GOD ミレスの神の手』（作者 Carl Milles, 1875-1955）がそびえています。この『神の手』を見上げながら、本学術集会のテーマ「看護の心」をお考えい

ただけるとよろしいのではないかと存じます。

看護を実践する「人間」は、所詮、神の手の中に生きる存在に過ぎません。その人間の行為の根底にある「看護の心」。



『神の手』

それを構成する人間の〔認識 (cognitive)〕や〔感情的な (affective) 側面に裏打ちされた道徳的感情 (感性)〕、〔美德 (virtue)〕等については、『神と人間』を比較することでは導くことのできない議論かもしれません。

しかし、この集会では、本テーマに関連して『ナイチンゲール看護論』研究の第一人者や、看護管理実践の歴史の証人のご講演から、その答えを加えつつ、さらに両日にわたる会員の研究発表や交流セッションにおける討論の中から、本大会テーマの答え（糸口）を得る機会となるのではないのでしょうか。

九州における今日的看護体制・勤務体制は、第二次世界戦争後にGHQの強力な指導の下で確立しました。その時を経た九州大学医学部キャンパスには、ヒポクラテスの木（1970年植樹）、ナイチンゲール碑があり、新病院は第三期工事に入り、また一方で、医学部図書館・久保記念館には、史的資料がたくさんあります。

また、福岡古楽音楽祭10周年の年である事から、バロックフルート奏者（音楽研究家）による『中世・ルネッサンスから現代までのフルートの形態と音の変化の軌跡：音色に込められた人間の歴史に関するトークと演奏』をお引き受けいただきました。

蝉の声せわしい大学構内ではごさいます。二両日をお楽しみください。

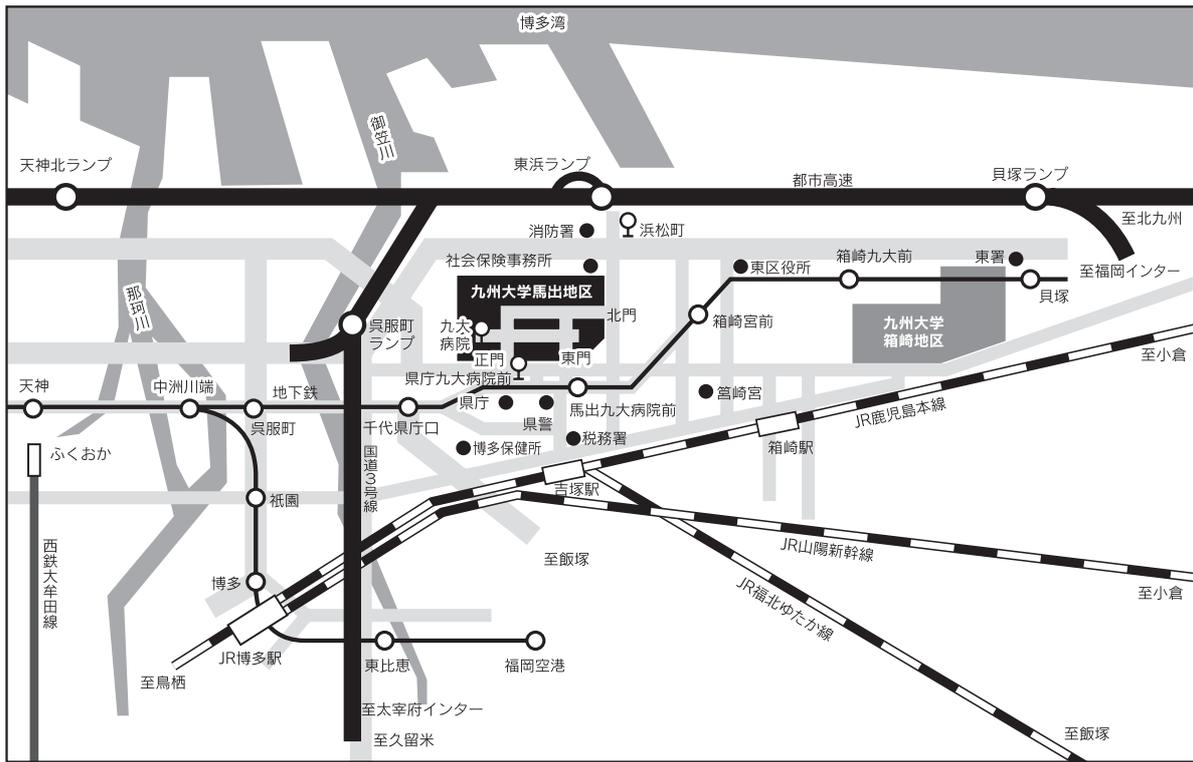
本学術集会が、全国学会員のより良い看護の歴史研究活動の発展の契機となりますことを期待し、また皆様のご参加を心より歓迎いたします。

第22回学術集会プログラム

第1日目 2008年8月27日(水) 九州大学医学部百年講堂			
時間		会場	備考
12:30~	受付	交流ホール入り口	交流ホール では常時、 ポスター・ 物品を展示 しています
13:00 ~ 13:30	会長講演「歴史にみる看護の Ethos」 丸山マサ美(九州大学大学院医学研究院保健学部門) 司会:山本捷子(前日本赤十字九州国際看護大学)	大ホール	
13:40 ~ 14:30	特別講演Ⅰ「医の心、看護の心」 井口 潔(九州大学 名誉教授) 司会:丸山マサ美(九州大学大学院医学研究院保健学部門)	大ホール	
14:40 ~ 15:40	研究発表 口演Ⅰ群 1~3	中ホール1	
	口演Ⅱ群 1~4	中ホール2	
	口演Ⅲ群 1~4	中ホール3	
	口演Ⅳ群 1~4	大ホール	
	示説 1~11	交流ホール	
16:00 ~ 16:50	特別講演Ⅱ「歴史の証人—看護管理実践の60年—」 前田 マスヨ(前・東海大学病院看護部長) 司会:藤村龍子(東京慈恵会医科大学)	大ホール	

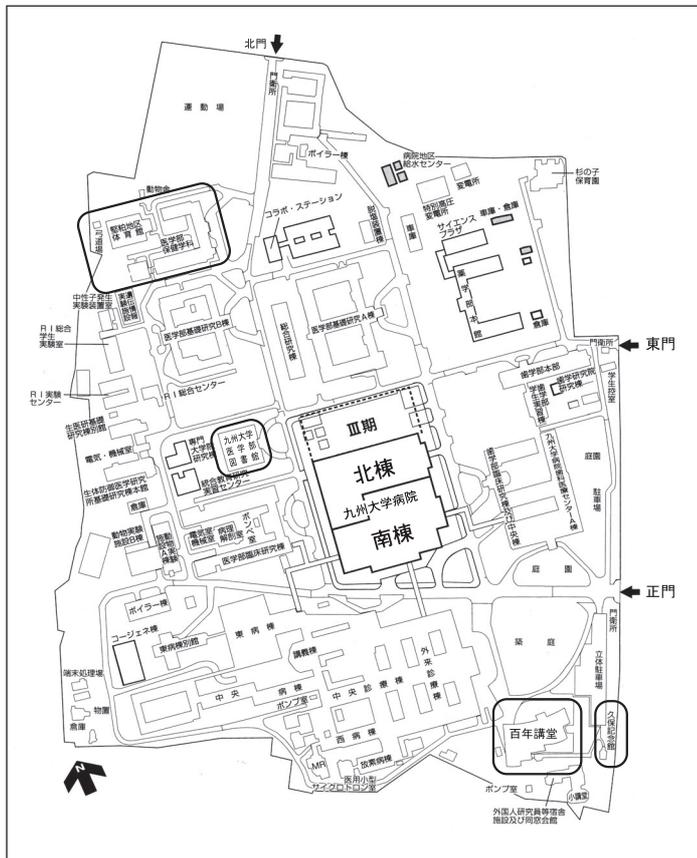
第2日目 2008年8月28日(木) 九州大学医学部百年講堂			
時間		会場	備考
9:00~	受付	交流ホール入り口	
9:30 ~ 11:00	交流セッション		
	1. 「看護歴史研究の今後の課題」	大ホール	
	2. 「水俣病から生命・看護を考える」	中ホール1	
	3. 「女性の権利に関するナイチンゲールの見解」	中ホール2	
	4. 「地方における看護教育史研究(2)—青森県」	中ホール3	
	5. 「九州における男性看護職員の過去・現在・未来」	2F会議室1	
11:10 ~ 12:30	教育講演「ナイチンゲール看護論の継承と発展 ~ヘンダーソンからM・ニューマンまで~」 薄井 坦子(宮崎県立看護大学 学長) 司会:川嶋みどり(日本赤十字看護大学)	大ホール	
昼食は各自でおすませください			ポスター掲 示は12:00 まで
13:30~	希望者は医学部図書館・九大病院・久保記念館の見学ツアー		

〈案内・地図〉



病院地区 (地図)

会場 九州大学医学部百年講堂 正門より左手築庭 (医学部創立75周年記念庭園) 前

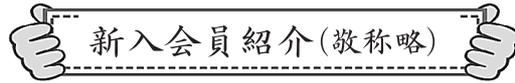


交通案内 (アクセス)

- 福岡空港から……地下鉄約20分 (中洲川端駅で貝塚行きに乗り換え、馬出九大病院前下車1番出口) / タクシーで約20分
- JR 博多駅から ……地下鉄約15分 (中洲川端駅で貝塚行きに乗り換え、馬出九大病院前下車1番出口)
- JR 吉塚駅から ……徒歩約15分
- 西鉄福岡 (天神) …地下鉄 約6分 (貝塚行で馬出九大病院前下車；福岡空港行では中洲川端駅で乗り換え馬出九大病院前下車)
- 西鉄バス (天神) …約15分 (系統番号①⑬⑭等)

〈お問い合わせ〉

日本看護歴史学会第22回 学術集会 事務局
 九州大学大学院医学研究院丸山研究室
 TEL&FAX 092-642-6710
 ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>



新入会員紹介(敬称略)

岡 長子 (07025)	岡崎いみ子 (07047)	島の江栄子 (07061)	尾首 睦美 (08002)
清野たか枝 (07026)	岡本 良子 (07049)	中畑 高子 (07062)	大石 和代 (08003)
新川 哲子 (07028)	立川 孝子 (07050)	田村 玲子 (07063)	川田 由美 (08004)
宮内 和代 (07031)	佐山 理絵 (07051)	村山由起子 (07064)	富森 玲子 (08005)
秋山由加里 (07033)	渡部美智子 (07052)	川原 由子 (07065)	東中須恵子 (08006)
小波津豊子 (07036)	一宮マリ子 (07053)	山崎 雅代 (07067)	阿部 利恵 (08007)
杉本佳代子 (07039)	藤 睦美 (07054)	磯谷留美子 (07068)	大西真由美 (08008)
相羽 利昭 (07041)	永滝 幸子 (07055)	猿渡美智代 (07069)	長江 拓子 (08009)
南田 幸子 (07042)	鈴木真理子 (07056)	増渕 由美 (07070)	北沢 勝己 (08010)
西田美智子 (07043)	酒井 康江 (07057)	高山 浩子 (07071)	神原 裕子 (08011)
池井 淳子 (07044)	中村 貴子 (07058)	後藤 龍子 (07072)	杉田理恵子 (08011)
時本 圭子 (07045)	真弓恵美子 (017059)	黒木美智子 (08001)	西村理恵子 (08013)
南雲マリ子 (07046)	橋本久美子 (07060)		

*平成20年6月23日現在、手続きが完了している会員。

日本看護歴史学会創立20周年記念事業 文献データベースを作成して

平尾真智子

先行研究の意義は重要であり、研究のスタートでもある。看護歴史研究を志す人々のために、過去の研究結果の集積である文献目録があればどんなに便利だろうと思っていた。誰かがやってくれるだろうと思っていたら結局自分がすることになった。今回の企画のきっかけは北里大学で第18回学術集会実行委員会が開かれた席上である。学会20周年記念事業の企画の話がでたときに、これまで温めていた『看護歴史研究文献目録』の作成を提案した。2004年1月の理事会で決定され2008年3月に学会誌に目録が掲載されるまでに4年の歳月を要した。収録した文献数は約2,400件である。

コンピュータで最近のものは検索できるが、機械化される以前のは手作業に頼らざるをえない。これまで研究用に所持していた「看護関係雑誌文献目録」／「最新看護索引」を主軸に文献の収録範囲を計画した。「医学中央雑誌」の検索においては慈恵医大学術情報センター図書館にご協力いただいた。年代は1945年～2005年の60年間とした。文献目録作成の意義は理解していても実行にはいくつもの困難があった。そんなときに自分を励ましてくれたのがヘンダーソンである。彼女は看護師たちが行った看護研究の文献目録を作成している。この業績は地味で注目されていないが、アメリカの看護研究が開花する土台となっている。今回の文献目録が会員の研究に活用されることを願っている。(8月の学術集会で交流セッションを担当します)

日本看護歴史学会第23回学術集会開催について

会 長 内田 卿子氏
開催地 東京(聖路加看護大学)
会 期 2009年8月20日(木)、21日(金)

※詳細は次号でお知らせします。

平成20年4月19日理事会報告

1. 現在会員数：341名(内 特別会員1名)
2. 入会者数
平成19年4月1日以降の新入会員：13名(8月30日現在)
3. 5名が会費3年間未納により除籍。
4. 住所変更時には、住所変更届け用紙でご一報を。
5. 入会承認後、「会費納入が大幅に遅れたり会員カードが送付されないと会員番号が付与されず、その後の書類(会報や学会誌)の送付が困難となります。お知り合いの方が入会される場合にはご注意ください。お願いします。
6. 前年度会費を納入していないと会報・学会誌等が送付されないようになりました。皆様ご注意ください。

編集後記

2004年から企画・会報担当理事として会報発行に携わってきました。定期に会報を発行することに情熱を注いできました。会報紙面の内容を検討し、会員間のコミュニケーションを促進する、アカデミックな情報を提供するなど、次のステップに進むことが必要であると思います。(す)

日本看護歴史学会会報 第50号

企画・編集 高橋みや子(京都橋大学)
大石杉乃(東京慈恵会医科大学)
発行責任者 田中幸子(山形大学)
印刷 有限会社 新和印刷
事務局 〒990-9585
山形市飯田西2-2-2
山形大学医学部看護学科 田中幸子
Tel&Fax 023-628-5432
e-mail nhistory-gakkai@umin.ac.jp